

Case : 332

ミニスロープを介助で斜めにあがろうとして、側方へ転倒しそうになる

場面の説明

廊下から居室へミニスロープで介助で斜めにあがろうとして、側方へ重心が傾き過ぎて転倒しそうになった



利用シーン	 移動
主な利用場所	 段差・縁石
介護保険の種目	 スロープ
分類コード (CCTA95)	183018 (固定用スロープ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

室内の段差解消にミニスロープを良く使いますが、介助で斜めに上がろうとした時に側方へ重心が傾き過ぎてバランスを崩した事例です。なるべくミニスロープに対して直角に車いすの向きを整え上げるのが原則ですが、廊下幅が狭い為にはやむを得ない場合はゆっくり介助します。また、斜めに上がらないといけない段差を、床のかさ上げの住宅改修で解消し、他の問題のない場所をミニスロープで直進で移動できるようにする工夫もあります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：ミニスロープに斜めに上ろうとした
- モノ：ミニスロープの斜度がきつかった
- 環境：展開するための廊下幅が狭かった
- 管理：介助方法の確認が出来ていなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 332

ミニスロープを介助で斜めにあがろうとして、側方へ転倒しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

廊下から居室へミニスロープで介助で斜めにあがろうとして、側方へ重心が傾き過ぎて転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ